

地域連携推進会議議事録

日時 令和 8年 3月 19日 (木) 10時30分～ 場所 わけホーム

開会あいさつ 理事長
出席者紹介 曾根区長 U様 近隣の方 O様
和気町役場 O様
理事長 延藤 サビ管 山田 5名

会議の目的・役割説明

地域連携推進会議は、施設等と地域が連携することにより、以下の目的を達成するための、地域の関係者を含めた外部の方が参加する会議です。

- ・利用者と地域との関係づくり
- ・地域の人への施設等や利用者に関係する理解の促進
- ・施設等やサービスの透明性・質の確保
- ・利用者の権利擁護

令和7年度 藤の里基本方針説明 (別紙資料)

- (1)事業計画 (案)
- (2)人材育成・定着
- (3)衛生管理・感染防止対策
- (4)健康管理
- (5)身体拘束及び虐待防止
- (6)苦情解決の適正運営
- (7)合理的配慮・意思決定支援
- (8)地域とのつながり
- (9)防災・災害対応・BCP訓練計画
 - ・活動及び行事实施報告
 - ・防災訓練 (炊き出し)

令和7年度

活動状況報告 ・行事予定
わけホーム利用状況 人数・区分 (別紙資料)
定員 9名
日中・藤工房利用 (就労支援B型・生活介護)
・一般就労
利用者特性について
行事予定

令和8年度 ・行事予定 (案) ・地域貢献について
地域貢献の提案
・和文字精霊流し参加
・地域秋祭り 掃除

BCP・虐待防止委員会・研修実施について
メンタル研修年 2回（別紙資料を基に説明）

- ・研修内容
- 。感染予防について

事故等の状況 今年度なし
施設内見学 スプリンクラー設置等説明
災害時に備えての備蓄・ポータブル電源用意について
物資について
避難経路と避難場所について

業務分掌一覧表につい（別紙あり）

令和8年度の職員の取り組みについて研修年3回予定

- ・自己研鑽することでスキルアップ、利用者への対応
利用者がどのように変わってきたのか
3回目の研修終了後令和9年に向けての取り組みを決めいきます。

事故等の状況 ・事故件数無し

次回開催までの主な活動予定

- ・避難訓練・自転車安全講習

今後の開催・推進委員へのご協力について

※まとめ

- ・ 曾根区は生活用水として、いどがあり災害時使用可能
- ・ 簡易トイレ4台 発電機
- ・ ある程度の防災対策はできているとのことで、地域の災害時に対する備えと取り組みなど参考になるお話を聞く事ができました。
ホームも避難訓練の大切さを再度、利用者に話し最大に備えてできる限りの備蓄を用意しておく。
- ・ わけホームは災害時に数名の受け入れ可能と伝える。
- ・ 登山道からの山水について
（土管が通っていて入口に落ち葉が溜まると外へ流れて来るとの事で時々確認し落ち葉撤去が必要

※ ホームへの理解と近隣の方との意見・情報交換でき充実した会になりました。